



# LUCKY

2023.2

第53期 報告書

2022年3月1日から2023年2月28日

LUCKY

北雄ラッキー株式会社

東証スタンダード市場:2747

## 株主の皆様へ

ごあいさつ

北雄ラッキー株式会社  
代表取締役社長

桐生 宇優



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第53期（2022年3月1日～2023年2月28日）は、食品スーパーの業績に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症はようやくその拡がり落ち着きつつあります。長く制限のかかっておりました社会経済活動は少しずつ正常化に向かい始め、感染症対策との両立が現実となってまいりました。また、素材高や円安の影響を受け、物価上昇基調が続いています。物価高の一因となった、ウクライナ紛争の終結ははまだ見通せず、一方で台湾をめぐる情勢も緊迫度を増しています。

そのような経営環境下、私どもがこだわり続ける点は「よりおいしくより豊かに」「健康と安心」であります。これは「テイスティラッキー」「ナチュラルラッキー」として当社の商品政策に掲げているものです。これを全社であらためて共有し、将来当社がどのような姿となっているかを確認するため、第54期から3年に渡る中期経営計画を策定いたしました。販売計画、投資計画、人員計画などを統合した計画であり、達成度の計測のため売上高経常利益率や自己資本比率等、いくつかの

KPIも設定しております。中期経営計画を遂行する目的は、収益力強化です。それは企業が安定して永続するための必須のものと考えます。そしてこの計画の中では目標達成に向け失敗を恐れずトライし続ける、「チャレンジャー」をキーワードとして掲げています。

食品スーパーの経営環境は「大変な時代」に突入しています。しかし私どもはこれを食品スーパーが「大きく変わる時代」と読み替え、受け止めています。

第52期にオープンしましたラッキー生鮮・デリカセンターの本格稼働や第54期に予定しております店舗レジ入替など引き続き経営効率化とお客様の利便性を向上させます。また出店好適地を厳選し、当社として6年ぶりとなる新店開設も目指します。また、「若年層や女性の従業員の働きやすい職場」を念頭にモノだけではなく、ヒトに対する投資も行っていきます。

より多くのお客様に店舗まで足を運んでいただき、当社を評価いただけるよう、従業員、役職者一同、最大限の努力をしております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 店舗網

(2023年2月末現在)

営業店舗合計 33店

食料品・衣料品共同店 22店

食料品単独店 5店

衣料品単独店 6店

ラッキーマート幌向店

栗山店

長沼店

手宮店・朝里店

岩内店

倶知安店

千歳錦町店

ひとみ店・美原店

シティわかない店

シティもんべつ店

シティマートなかゆうべつ店

シティえんがる店

シティびほろ店

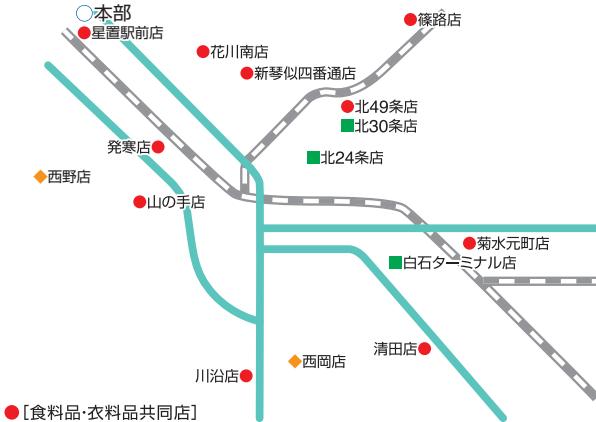
シティあぼしり店

シティマートめまねべつ店

シティマートくんねつ店

札幌市

## 札幌市近郊店舗分布



● [食料品・衣料品共同店]

◆ [食料品単独店]

■ [衣料品単独店]

○ 本 部 〒006-0851 札幌市手稲区星置1条2丁1番1号 ☎011-558-7000

■ ラッキー生鮮・北海道小樽市銭函3丁目193-1 ☎0134-62-1717

■ シティデリカセンター 北海道網走郡美幌町字青山北53-3 ☎0152-75-2060

■ 低温センター 札幌市中央区北12条西19丁目36-168 ☎011-643-4511

■ 物流センター 北海道石狩市新港西3丁目700 ☎0133-75-8877

1971年4月、食品の小売および卸売を目的として株式会社オレンジチェーンを設立。1974年5月、商号を株式会社山の手ストアと改めチェーン展開を開始し、更なる店舗規模の拡大と集客部門の充実強化を図るため、1982年5月に札幌市内を中心に衣料品のチェーン展開を行っていた株式会社まるせんと合併。商号も現在の北雄ラッキー株式会社に変更しました。

その後、一層のチェーン展開を図り、石狩市、小樽市、道東の美幌町・遠軽町、道央圏の千歳市・栗山町・長沼町と規模を拡大し、更に道東地区のドミナント化を図るため網走市、紋別市へ進出、2005年10月には道北の稚内市、2008年9月には後志地方の岩内町、2011年11月には道南地区の函館市へと営業エリアを広げ、2023年2月末現在、全道各地に33店舗を展開しております。今後も、企業理念である「北雄ラッキーは、日本一質の高いスーパーマーケットをめざします。」を掲げ、お客様に感動を与えるサービスとともにニーズの変化を敏感に捉え、一步先を行くスーパーマーケットの創造に努力を続けてまいります。



## 「ナチュラルラッキー& テイスティラッキー」 ラッキーらしさの商品コンセプト

お客様にとって最大の関心事である「食」の「健康と安心」の面において、当社が自信を持っておすすめしているのが「ナチュラルラッキー」の商品コンセプトです。お客様の健康増進や病気予防に役立つよう、有機野菜、特別栽培品、無添加商品などを展開しております。また、もうひとつの商品コンセプトである「テイスティラッキー」は、「おいしさ」と「品質」で、家族が揃うお祝いの日やお誕生日などの食卓で、家族みんなに満足していただける商品です。

健康で安心な毎日の食生活のために。  
NATURAL LUCKY **ナチュラルラッキー**



ホテルブレッド



興部ハム  
ベーコン・ロースハム・  
あらびきウインナー

おいしいものをどどんと食卓に。  
TASTY LUCKY **テイスティラッキー**



こだわり玉子あんこ



ラッキー味付  
ロースリングスカン  
ラムモモ



中札内  
そのまま枝豆

## 「お客様の食生活をゆたかに、安心にすることが私たちの願いです。」

当社の商品政策である「6MD商品」提供の目的は、お客様の食生活をゆたかに、安心にすることにあります。6MDの商品政策においては、商品が持っている様々な要素を6つの商品コンセプトを基に分類し、商品特性の見極めによる、顧客ニーズや価値観に適合する商品提供により、顧客満足度の向上を図っております。

私たちは、お客様が求めている商品やサービス、そして価値を提供することが、お客様の食生活をゆたかに、安心にすることに結びつくと思っております。

食生活をゆたかに、あんしんに。

上のマークが目印です。お買物にお役立てください。  
**LUCKY CITY**

## 中期経営3か年計画の策定



新型コロナウイルス感染症やウクライナ紛争など激変する経営環境下、将来の当社のあるべき姿を見える化するため、2023年度から3年間の中期経営計画を策定いたしました。2022年3月から半年にわたり幹部社員が外部研修をうけ、経営計画について理解を深めた上で議論を重ね完成に至ったものです。お客様にご支持いただくことを通じ、企業の永続のためどのように収益力を確保していくかにフォーカスしたものとなっています。この計画は当社が変化し続けることの決意を表すため「チャレンジャー」と題しました。ご期待ください。



## フードコーディネーター部の新設



フードコーディネーター部メンバー

お客様のニーズに合致した新商品開発を合言葉に、「フードコーディネーター部」を新設いたしました。惣菜や弁当などのプロデュースを担当いたします。2021年に稼働を開始したデリカセンターの機能をフル活用し、いままでにない商品をお届けします。メンバーには感覚の鋭い若手社員を充て、斬新な企画を検討中です。大胆な商品アイデアを考案する一方、1グラム単位で量の調整を行うなど地道で細やかなテストを重ね続けています。



商品開発の様子

## ■「ラッキー篠路店の改装」

2022年9月17日、ラッキー篠路店がリニューアルオープンしました。

お客様にとって「買いやすい店舗」に生まれ変わることを目標に、特にファミリー層のお客様を念頭に改装を行いました。主通路を広げ、見渡しやすい店内レイアウトとしたことで「買いやすさ」を、時間に追われがちなファミリー層にニーズが高まっている冷凍食品コーナーを拡充することで「便利さ」「手軽さ」という切り口を前面に押し出しました。冷凍庫も見やすく買いやすいウォークイン型に切り替えています。お子様向けに吊り下げ菓子コーナーや生活用品コーナーも充実させ、買い回りの楽しい店づくりを行いました。

オープン当日は5,500人のお客様の来店でにぎわい、その後もファミリー層を中心に継続的な来店をいただいております。

当社は翌事業年度において、稚内店、紋別店のリニューアルを予定しております。篠路店同様、「買いやすい」店舗の実現を目指します。



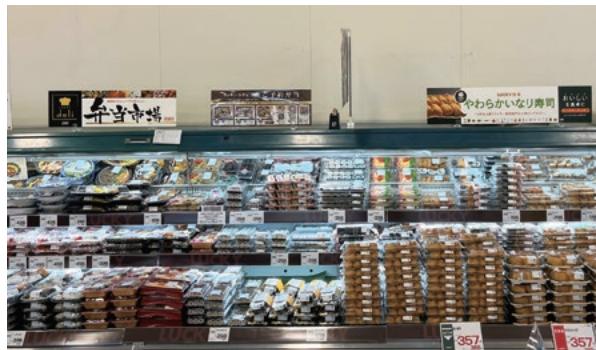
新装開店を待つお客様の行列



ウォークイン冷凍庫を導入し、より選びやすく



買いやすい通路幅を確保しました



弁当・惣菜の品揃えも厚く

北雄ラッキーは「今も未来も地域のお客様と共にあり続けたい」という願いのもとに、地球温暖化防止(二酸化炭素の削減)をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、従業員一人ひとりが身近で出来ることから、着実に実践し積み重ねることで、地域のスーパーマーケットとして、地球や人にやさしい環境づくりに貢献してまいります。

## 『お客様と共に続ける環境活動、牛乳パックのリサイクル』



牛乳パックリサイクルボックス

北雄ラッキーでは、2001年から札幌市内店舗を中心に(一部店舗を除く)に牛乳パックのリサイクル活動を行っています。回収量は2022年度では約12トンでした。回収量は年々少しずつ減っては来ていますが、お客様と共に20年以上続いている息の長いリサイクル活動となっています。牛乳パックを中心とした紙パックは、ご自宅で「洗って、開いて、乾かして」いただき、適切に回収することで、良質な再生パルプとなり、いろいろな紙製品へ再利用することが可能です。リサイクル活動は他にも食品トレーやアルミ缶、ペットボトルなどを実施しており、環境保護、資源の有効活用などの観点からもお客様の意識も高まっており、今後も未永く続けたい環境活動と考えております。

## 『狙いは省エネと省コストそして環境対策。ラッキー星置駅前店の駐車場照明をLED化しました』

ラッキー星置駅前店では、2022年度の省エネ事業として、50灯ある駐車場の照明をナトリウム灯からLEDへと変更しました。星置駅前店には、24時間営業のフィットネスクラブなども入居しており、省エネの効果が高いと判断したからです。導入後の省エネ効果は年間電力で2万4千kWh、コスト効果では、60万円の削減になります。また、地球温暖化対策となるCO<sub>2</sub>の削減効果は9トンとなり環境にも貢献することが出来ました。場内も明るくなってまさに一石三鳥の事業となりました。



星置駅前店駐車場、昼間の様子



LED化で明るくなった照明

# 当期の概況

## ●営業の状況と次期の見通し

当事業年度は前年に続き新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受けました。感染の鎮静化が見られ、長く制限されていた社会経済活動が正常化に向かうという良い傾向が見られた一方、素材高や円安の影響を受け、物価上昇が本格化した1年でした。

当事業年度において当社は永續できる企業であり続けるため収益力の増強を念頭に、以下の取り組みを行いました。

- ① 前年に完成した、ラッキー生鮮・デリカセンターの本格稼働による提供商品増強
- ② 競合他社に対する優位性の源泉である、商品力強化（「よりおいしくより豊かに」「健康と安心」）
- ③ 節約志向などお客様のニーズに合致した商品構成とすることによる販売力の強化
- ④ ③による魅力的な店づくりに加え、支払方法にdポイントを追加するなど利便性向上
- ⑤ SNSや店頭でのデジタルサイネージを使った販促によるファミリー顧客層の拡大
- ⑥ ラッキー生鮮・デリカセンターの本格稼働や店舗施設の自動化などによるコスト削減
- ⑦ 遊休資産売却などにより有利子負債を圧縮し財務体質を強化

売上高につきましては、377億14百万円で前事業年度比96.8%、12億50百万円の減少となりました。

経費面におきましては、電気料金値上げにより水道光熱費

は前事業年度比+2億12百万円、126%と大幅増加となりました。人件費は最低賃金引上げによるコスト増がありましたが合理化効果により66百万円の減少となりました。総体として販売費及び一般管理費は前事業年度比97.3%となり2億86百万円減少しております。

この結果、経常利益は4億18百万円と前事業年度比106.9%、27百万円増となりました。

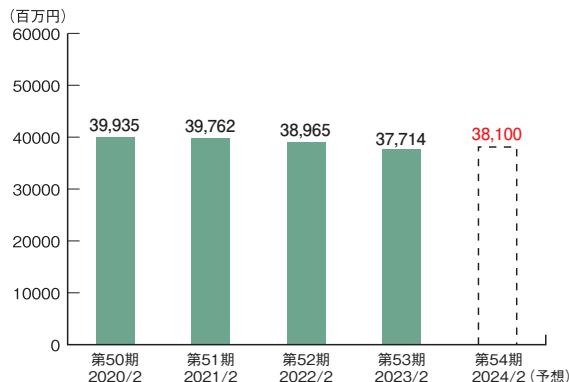
次期予定しております施策は以下のとおりとなります。

- ① 設備投資について、前事業年度から順延した稚内店の改装に加え、紋別店の改装を予定しております。そのほか商機があれば柔軟に設備投資計画を変更し対応します。
- ② お客様のニーズに合った商品開発を行うため、フードコーディネーター部を新設しました。
- ③ 人的資本の充実のため、若手職員や女性職員が働きやすい職場づくりを行います。
- ④ 継続した成長の実現のため、3か年の中期経営計画を策定しました。(p4をご参照ください)

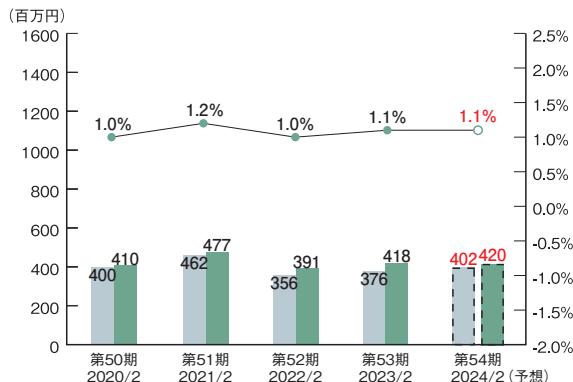
当社の競争力の源泉である「よりおいしくより豊かに」「健康と安心」にこだわった商品提供を続けてまいります。

これらの施策により、次期2024年2月期は、売上高381億（当事業年度比101.0%）、経常利益4億20百万円（同100.4%）、当期純利益1億99百万円（同155.4%）を見込んでおります。

■ 売上高の推移と予想（第50期～第53期実績と第54期予想）



■ 営業利益の推移と予想（第50期～第53期実績と第54期予想）



■ 経常利益の推移と予想（第50期～第53期実績と第54期予想）

● 売上高対経常利益率

## ●貸借対照表

単位:千円

科目	前期	当期
	2022年2月28日 現在	2023年2月28日 現在
〈資産の部〉		
流動資産	4,883,258	4,974,529
固定資産	13,770,284	12,721,258
有形固定資産	11,414,082	10,446,086
無形固定資産	83,881	56,995
投資その他の資産	2,272,320	2,218,175
繰延資産	422	—
資産合計	18,653,965	17,695,787

## ●損益計算書

単位:千円

科目	前期	当期
	2021年3月1日～ 2022年2月28日	2022年3月1日～ 2023年2月28日
売上高	38,965,230	37,714,879
売上原価	28,941,967	27,087,127
売上総利益	10,023,263	10,627,751
営業収入	1,133,038	262,128
営業総利益	11,156,301	10,889,879
販売費及び一般管理費	10,800,168	10,513,703
営業利益	356,133	376,176
営業外収益	61,880	68,626
営業外費用	26,728	26,514
経常利益	391,284	418,289
特別損失	21,257	216,109
税引前当期純利益	370,027	202,179
法人税、住民税及び事業税	86,352	80,667
法人税等調整額	39,224	△6,876
当期純利益	244,450	128,388

単位:千円

科目	前期	当期
	2022年2月28日 現在	2023年2月28日 現在
〈負債の部〉		
流動負債	10,239,232	9,294,377
固定負債	3,166,653	3,072,509
負債合計	13,405,885	12,366,887
〈純資産の部〉		
株主資本	5,226,144	5,291,220
評価・換算差額等	21,936	37,679
純資産合計	5,248,080	5,328,899
負債・純資産合計	18,653,965	17,695,787

## ●キャッシュ・フロー計算書

単位:千円

科目	当期
	2022年3月1日～2023年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,090,455
投資活動によるキャッシュ・フロー	517,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,554,398
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	53,275
現金及び現金同等物の期首残高	591,934
現金及び現金同等物の期末残高	645,209

# 売上・設備の状況

## ●商品別売上高の推移と直近構成比の状況

○売上高の概要

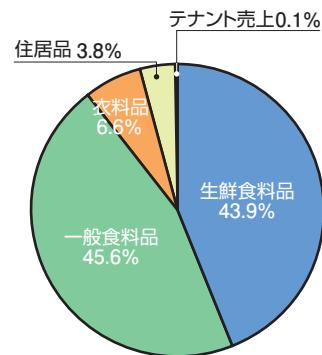
売上高は前期比12億50百万円減少しましたが、2023年2月期から適用の始まった収益認識基準の影響による売上高の減少額は11億39百万円であり、収益認識基準を適用しなかったとした場合の既存店売上はほぼ前期並みとなりました。

商品別売上高

単位：百万円

	第51期	第52期		第53期		第54期(予想)	
	2021/2	2022/2	前期比(%)	2023/2	前期比(%)	2024/2	前期比(%)
スーパーマーケット事業部門	39,762	38,965	98.0	37,714	96.8	38,100	101.0
生鮮食料品	16,915	16,692	98.7	16,540	99.1	16,858	101.9
一般食料品	17,825	17,575	98.6	17,215	97.9	17,400	101.1
衣料品	2,844	2,653	93.3	2,475	93.3	2,379	96.1
住居品	1,528	1,444	94.5	1,430	99.0	1,409	98.5
テナント売上	649	599	92.3	52	8.8	54	102.0
合計	39,762	38,965	98.0	37,714	96.8	38,100	101.0

第53期(2023/2)売上構成比



※2023年2月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2023/2以降の数値は当該基準を適用した後の数値となっております。

## ●設備投資等の概要

設備投資等につきましては、2022年3月、「ラッキー生鮮・デリカセンター」に旧「ラッキー生鮮センター」から精肉加工設備を移設し、鮮魚部門・惣菜部門に加えて精肉部門のセンター機能を集約しております。なお、2022年9月に「ラッキー篠路店」の改装を実施しており、当期の設備投資の総額は358,542千円であります。2023年2月28日現在の店舗数は33店舗であります。

設備投資の推移

単位：百万円

	第51期	第52期		第53期		第54期(予想)	
	2021/2	2022/2	前期比(%)	2023/2	前期比(%)	2024/2	前期比(%)
投資金額合計	197	1,139	576.6	358	31.5	941	262.6
新店投資	—	—	—	—	—	—	—
既存店改装投資	64	72	112.7	314	431.6	313	99.4
その他	132	1,066	802.6	43	4.1	628	1,437.6
減価償却費	305	310	101.6	333	107.4	335	100.5
リース償却費	89	78	87.5	104	132.4	145	139.5

注 本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 会社概要

設立 1982(昭和57)年5月10日  
 本社 〒006-0851  
 札幌市手稲区星置1条2丁目1番1号  
 資本金 6億4180万円  
 代表者 代表取締役社長 桐生 宇優  
 従業員数 正社員 450名  
 パートナー 1,222名  
 (1人8時間換算 月平均)  
 2023年2月末日現在  
 営業品目 生鮮食料品・加工食品・菓子・衣料品・  
 日用雑貨・米・酒

役員 (2023年5月24日現在)  
 代表取締役社長 桐生 宇優  
 取締役専務執行役員 田中 寛密 (営業本部長)  
 取締役常務執行役員 高橋 徹 (管理本部長)  
 取締役執行役員 吉田 武生 (経営企画室長)  
 取締役 吉田 周史 (社外取締役)  
 常勤監査役 黒崎 昭仁 (社外監査役)  
 監査役 宮脇 憲二 (社外監査役)  
 監査役 伊藤 光男 (社外監査役)  
 監査役 柴田 雅樹 (社外監査役)  
 執行役員 新榮 登 (営業本部 商品統括部長)  
 執行役員 加藤 隆通 (営業本部 販売統括部長)  
 執行役員 鉢呂 幸一 (管理本部 管理部長)  
 執行役員 山崎 誠 (管理本部 経理部長)

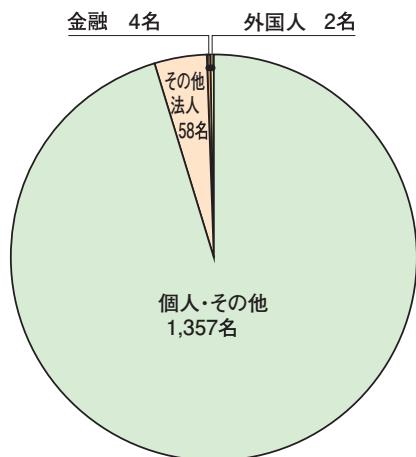
## 株式の状況 (2023年2月28日現在) 東証JASDAQ(スタンダード):2747

(注)2022年4月4日より、東京証券取引所の新市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場(証券コード:2747)に上場しております

発行済株式の総数 **1,264,640株**

期末株主総数 **1,421名** (前期比 55名増)

### ●所有者別株主数



※個人・その他には、自己株式1名分が含まれております。

### ●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
桐生興産株式会社	290,300	22.96
横山 清	70,000	5.53
株式会社北洋銀行	62,000	4.90
田中 寛密	60,100	4.75
堀 美智子	37,900	2.99
有限会社まるせん商事	32,000	2.53
株式会社北海道銀行	30,000	2.37
ノースパシフィック株式会社	27,000	2.13
千葉 サカエ	26,700	2.11
株式会社桐生商店	22,400	1.77

(注) 出資比率は自己株式(725株)を控除して計算しております。

# LUCKY

## 2023.2 第53期 報告書

### 株主メモ

事業年度  
定時株主総会  
基準日

配当金受領株主確定日

単元株式数  
株主名簿管理人  
事務取扱場所  
公告方法

株主優待制度

毎年3月1日から翌年2月末日まで

毎年5月下旬

2月末日

そのほか臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。

2月末日

中間配当を行う場合は8月31日

100株

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社

当社ホームページ(<https://www.hokuyu-lucky.co.jp>)

において、電子公告により行います。

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告を

することができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待制度として、毎年2月末日現在の100株以上ご保有の株主の皆様に対し、保有株式数に応じて以下のとおり株主優待贈呈品を年1回お届けいたします。

保有株式数	基準日	優待内容
100株以上200株未満	毎年2月末日	年1回、1,000円相当のJCBギフトカードを贈呈。
200株以上1,000株未満	毎年2月末日	年1回、5,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。
1,000株以上	毎年2月末日	年1回、10,000円相当のJCBギフトカードもしくは「北海道特産品」を贈呈。

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出などのお問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行 証券代行部 ホームページ： <a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a> フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
未払配当金、その他当社株式関係書類についてのお問い合わせ	右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)についてのお問い合わせ	お取引の証券会社または右記みずほ信託銀行までお問い合わせ願います。	電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
ご注意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。</li> <li>お届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。</li> </ul>	

本報告書で記述されている当社の現在の計画、戦略、業績予想並びに将来予測などは、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、経済情勢・市況環境等の様々な要因の変化により、実際の事業内容や業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。従いまして、当社の業績や企業価値等をご検討される際に、これら見通しの上に全面的に依拠することは避けていただきますようお願い致します。

また、本報告書に記述するいかなる情報も、当社の株式等の購入や売却を勧誘したり、これらに対する投資をアドバイスする目的で作成されたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。